

令和4年度 省エネ住宅補助制度を開始します！

2050年「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて、
**断熱等性能等級6、7^{※1}レベルの住宅の新築・改修モデルを創出し、
普及啓発を目的とした新たな補助制度（最大補助額200万円）を開始します。**

※1 「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく「住宅性能表示制度」において、ZEH水準の断熱等性能等級（以下「等級」という）5を上回る等級6及び等級7（最高レベル）（令和4年10月施行）

■ 補助制度のポイント ■

① 等級6、7の断熱性能に必要な建材の掛かり増し費用を補助！

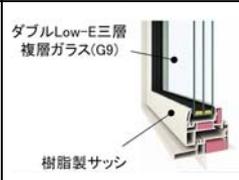
- ・等級6、7の断熱性能に必要な窓や断熱材等の建材について、『ZEH』水準の等級5からの掛かり増し費用として、等級6は150万円、等級7は200万円を上限に補助します。

● 「新築」は『ZEH』^{※2}補助金と併せてさらにお得に！

- ・国による『ZEH』水準の新築住宅の補助制度と併用可能です。

● 「改修」は改修工事補助金と併せてさらにお得に！

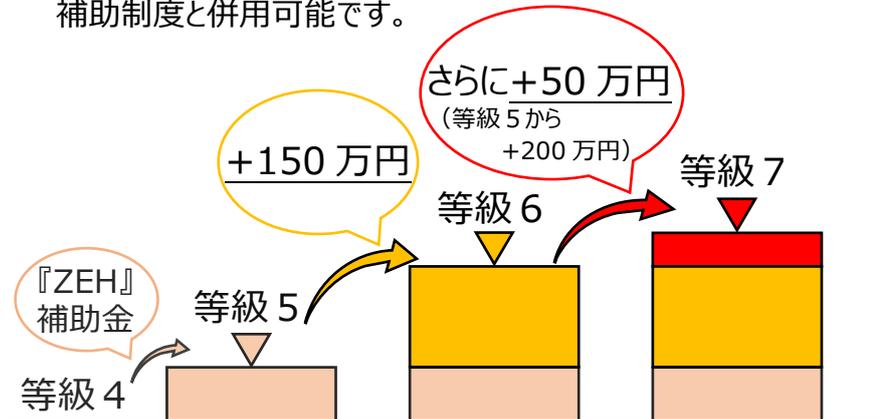
- ・国による断熱改修や、長期優良化リフォームなど既存住宅の補助制度と併用可能です。

断熱等級	戸建住宅の窓仕様の例 ^{※3}	冬季室温 ^{※4}
等級7	 <p>ダブルLow-E三層複層ガラス(G9) 樹脂製サッシ</p>	15℃
等級6	 <p>Low-E複層ガラス(G12) 樹脂製サッシ</p>	13℃

資料：等級6、7住宅の窓の仕様

※3 令和3年11月24日 社会資本整備審議会 建築分科会 建築環境部会建築物エネルギー消費性能基準等小委員会参考資料より

※4 WHO（世界保健機関）が、「住まいと健康に関するガイドライン」（平成30年11月）で、寒さによる健康影響から居住者を守るための冬季室温として、18℃以上を強く勧告



② 居室の窓断熱改修や、等級4の断熱性能に必要な改修費を補助！

- ・熱が最も多く出入りする「窓」を中心とした断熱改修について、一戸建て住宅は50万円、共同住宅は15万円補助します。また、断熱改修と併せて省エネ性能を向上させる設備への改修も補助します。

※②については国の省エネ住宅に関する補助制度との併用はできません。

③ ①、②ともに横浜市の耐震改修補助制度と併用可能！

※2 ゼッチ（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、外皮の断熱性能等の向上とともに、高効率な設備の導入により、大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロをすることを目指した住宅。

【添付資料】別添資料『省エネ住宅補助』の概要

お問合せ先
建築局住宅政策課長 松本 光司 Tel 045-671-2917

『省エネ住宅補助制度』の概要

